

キヤノン カラーラベルプリンター LX 760

HWB Piece No. 対応手順書

本冊子について

本冊子はキヤノン カラーラベルプリンター LX 760 にて航空貨物ラベルを作成している環境にて、Secondary barcode に HWB Piece No. を印刷する際にお読みいただく操作説明書です。

対応ソフトウェア

本作業を行うことで、HWB Piece No.に対応させることのできるソフトウェアは「Cargo Label Plus for LX-D5500」です。パッケージソフトウェアである「航空貨物ラベル作成 (LX 760 用)」は 2017 年 3 月 13 日時点で対応予定はございません。

作業の手順

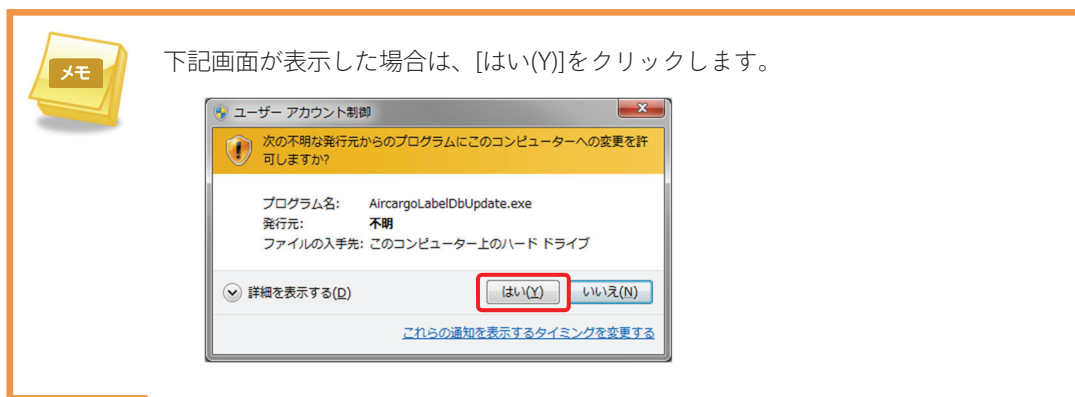
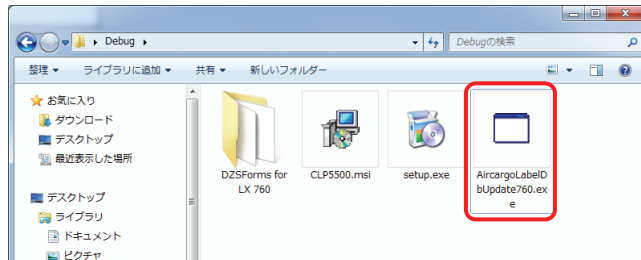
導入作業は以下の手順で行います。

- 手順1. データベースファイルアップデイトツールの実行
- 手順2. Cargo Label Plus for LX-D5500 のセットアップ
- 手順3. DHL グローバルフォワーディング様 セットアップスクリプトの実行

1. データベースファイルアップデイトツールの実行

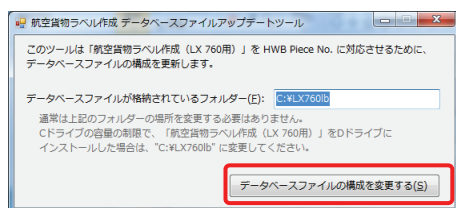
ソフトウェアが使用するデータベースを HWB Piece No. に対応させるため、データベースデザインの更新を行います。

- 1) AircargoLabelDbUpdate760.exe をダブルクリックします。

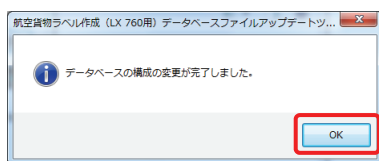


- 2) [航空貨物ラベル データベースファイルアップデイトツール]画面が表示されましたら、[データベースファイルの構成を変更する(S)]をクリックします。

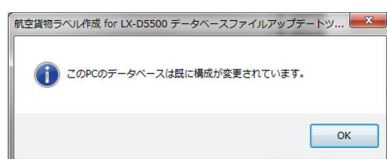
データベースファイルが格納されているフォルダーが “C:¥LX760lb” 以外の場合は、正しいパスを指定してください。ただしほとんどの場合、変更する必要はありません。



- 3) 「データベースの校正の変更が完了しました」と表示されたら、完了です。[OK] をクリックします。



下記画面が表示した場合は、すでにアップデートが完了しています。[OK]をクリックして、次のステップに進んでください。



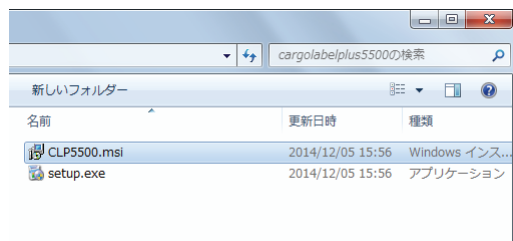
以上で、データベースファイルアップデートツールの実行は終了です。

2. Cargo Label Plus for LX-D5500 のセットアップ

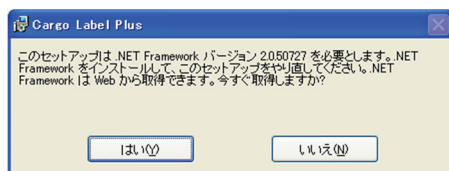
Cargo Label Plus for LX-D5500 のセットアップを行います。Cargo Label Plus for LX-D5500 は V1.3 から LX-D5500 だけでなく、LX 760 にも対応しております。

1) インストーラーを実行します。

Cargo Label Plus for LX-D5500 フォルダーの CLP5500.msi をダブルクリックし、インストーラーを実行します。



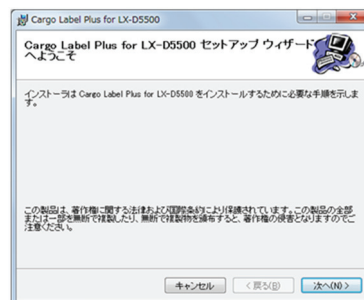
インストーラーを実行後、次の画面が表示される場合は Cargo Label Plus のインストールの前に Microsoft® .NET Framework (ドットネット フレームワーク) をインストールする必要があります。



この画面が表示されたら [はい(Y)] をクリックし、.NET Framework を Web からダウンロードして、インストールを行ってください。

2) Cargo Label Plus for LX-D5500 セットアップ ウィザードが始まります。

[次へ(N)] をクリックしてください。



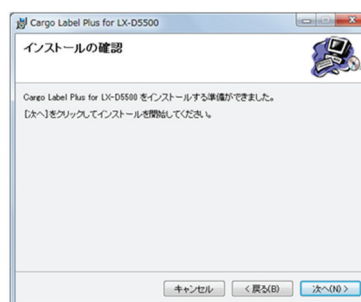
3) インストールフォルダの選択画面が表示します。

インストールするフォルダを指定し、[次へ(N)]をクリックしてください。



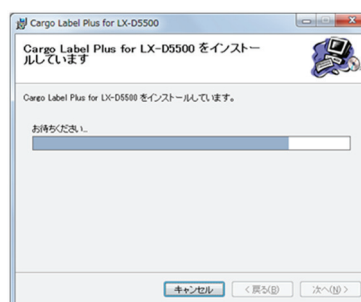
4) インストールの確認画面が表示します。

設定した内容でインストールを開始します。よろしければ[次へ(N)]をクリックしてください。設定を変更する場合は[戻る(B)]をクリックし、設定をし直してください。



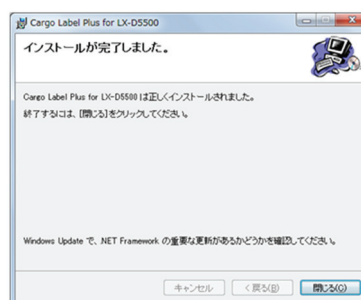
5) インストールが行われます。

しばらくお待ちください。



6) インストールの完了です。

下記画面が表示されたら、インストールは完了です。[閉じる(C)]をクリックしてください。



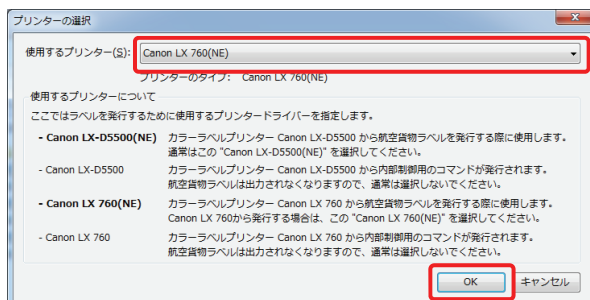
以上で、Cargo Label Plus for LX-D5500 のセットアップは終了です。

3. DHL グローバルフォワーディング様 セットアップスクリプトの実行

セットアップスクリプトを実行し、DHL グローバルフォワーディングジャパン様のフォームファイルのコピーとラベル出力の設定を行います。

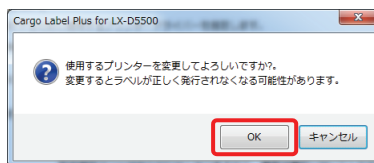
- 1) Cargo Label Plus for LX-D5500 を起動します。
- 2) 下記画面が表示されたら、[使用するプリンター(S)]から"Canon LX 760(NE)"を選択し、[OK]をクリックします。

表示されない場合もあります。



- 3) 下記画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

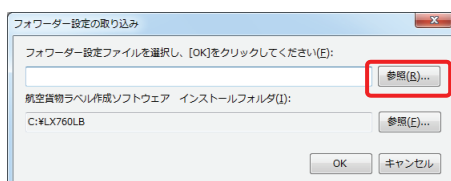
表示されない場合もあります。



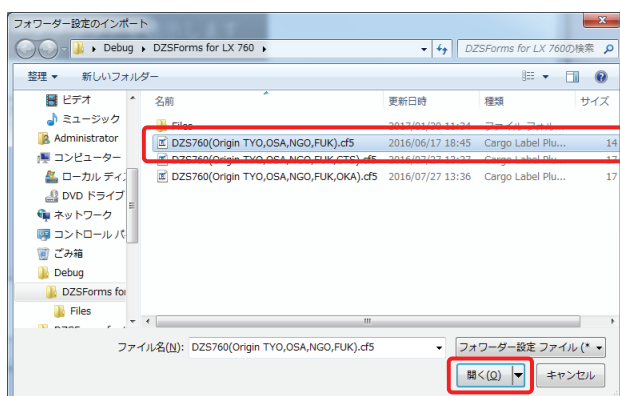
- 4) Cargo Label Plus for LX-D5500 が表示されたら、[OK]をクリックします。



- 5) [フォワーダー設定の取り込み]が表示されたら、[参照(F)...]をクリックします。



- 6) “DZS760(Origin TYO,OSA,NGO,FUK).cf5”を選択し、[開く(O)]をクリックします。



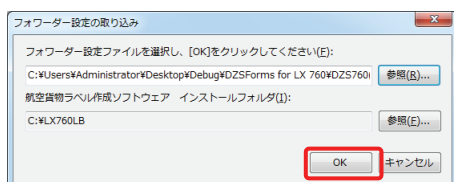
DZS5500(Origin TYO,OSA,NGO,FUK).cf5 をダブルクリックしたときに登録される Origin は TYO/OSA/NGO/FUK の 4 種類です。
 CTS も必要な場合は、DZS5500(Origin TYO,OSA,NGO,FUK,CTS).cf5 を
 OKA も必要な場合は、DZS5500(Origin TYO,OSA,NGO,FUK,OKA).cf5 を
 ダブルクリックしてください。



下記画面が表示した場合は、[はい(Y)]をクリックします。



- 7) [フォワーダー設定の取り込み]画面が表示されたら、[OK]をクリックします。



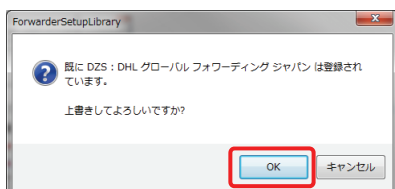
[航空貨物ラベル作成ソフトウェア インストールフォルダ(I)]が “C:¥LX760LB” でない場合は、[参照(F)…]をクリックし、“C:¥LX760LB” フォルダーを選択してください。



[OK]をクリックした際、「航空貨物ラベル作成ソフトウェアのインストールフォルダが正しくありません」とエラーが表示された場合は、CD の for LX 760 フォルダーにある D5500lb.exe を C:\¥LX760lb フォルダーにコピーし、再度お試しください。

- 8) 下記の画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

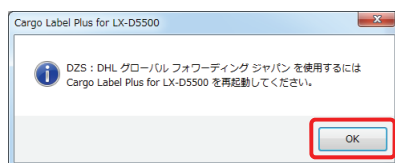
表示されない場合もあります。



- 9) 下記の画面が表示されたら、[OK]をクリックします。



- 10) 下記の画面が表示されたら、[OK]をクリックし、Cargo Label Plus for LX-D5500 を再起動します。



以上で、DHL グローバルフォワーディングジャパン様 セットアップスクリプトの実行は終了です。

この後は Cargo Label Plus for LX-D5500 からラベルを発行し、Secondary barcode に HWB Piece No.が印刷されているかご確認ください。

Cargo Label Plus for LX-D5500 のご使用方は Cargo Label Plus for LX-D5500 フォルダーにある「Cargo Label Plus for LX-D5500 ユーザーズガイド」をご覧ください。